

(1) 評価の構想(具体的課題と評価項目)

学校の教育目標	学校経営の重点	具体的課題	評価項目		
			児童	教師	保護者
進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成	個のよさが響き合い輝く楽しい学校とした教育の実践	確かな学力の定着	① 「話す」、「聞く」をがんばることができたか。 ② 進んで読書をしたか。 ③ 立腰の姿勢で学習しているか。	① 「話す」「聞く」態度を意識させながら学習を進めているか。 ② 図書室を活用し、読書を勧めているか。 ③ 立腰指導を徹底しているか。	① 忘れ物がないか声をかけているか。 ② 「家読(親子読書)」に協力しているか。
		(2) 基礎的・基本的学習内容の定着	④ 計算や漢字、読み声などを続けて学習に取り組んでいるか。 ⑤ 授業の内容が分かるか。	④ 学級の実態や個に応じた指導の工夫や手立てを行っているか。 ⑤ 学習内容の定着を図る工夫を行っているか。	③ 子どもの家庭学習を見届けているか。
		(3) 西都市一貫教育の推進	⑥ さいと学や英語活動(英会話)に楽しく取り組むことができたか。	⑥ 児童がさいと学や英語活動(英会話)に楽しんで取り組めるような工夫や改善を行っているか。	
		心の教育の充実	① 自分から進んであいさつをしているか。(地域、家庭、先生、友達) ② 元気よく「はいっ」の返事ができているか。 ③ 自分の持ち物やトイレのスリッパをきちんと整頓しているか。	① 進んであいさつすることを意識して指導をしているか。 ② 常に元気のよい返事をするを指導しているか。 ③ 身の回りの整理整頓を行うとともに、児童への指導も行っているか。	① 家族同士、率先してあいさつを行っているか。 ② 子どもに返事をするよう言葉かけをしているか。 ③ 子どもに整理整頓をするよう言葉かけをしているか。
		(2) 思いやりのある心、感謝の心の育成	④ 友達に「くん」「さん」を付けて呼んでいるか。 ⑤ 「ありがとう」「ごめんなさい」が言えているか。	④ 言語環境を意識した指導を行っているか。	④ 子どもの話に耳を傾け、しっかりと聞いているか。
		(3) 規範意識の向上	⑥ ルールやマナーを守っているか。	⑤ 善悪の判断に関する具体的な指導を日常的に行っているか。	⑤ 子どもが正しいことをした時にほめたり励ましたりしているか。
		たくましい心身の育成	① 毎日、早寝・早起きがきちんとできているか。 ② 毎日、きちんと朝ご飯を食べているか。 ③ 毎日、排便がきちんとできたか。 ④ 正しい姿勢で生活しているか。 ⑤ 毎日、ハンカチをもってきているか。 ⑥ 手洗い・うがいをしっかりしているか。 ⑦ 歯磨きをきちんとしているか。	① 日常的に規則正しい生活について、具体的な指導を行っているか。 ② 日頃から正しい姿勢を身に付けさせる指導を行っているか。 ③ ハンカチを身に付けたり、手洗い・うがいをしたりする習慣化を図る指導を行っているか。 ④ 歯磨きの習慣化を図る指導を行っているか。	① 子どもに早寝・早起き・朝ご飯・排便について声かけを行っているか。 ② 子どもに正しい姿勢について声かけを行っているか。 ③ 子どもにハンカチ・手洗い・うがいについて声かけを行っているか。 ④ 子どもに歯磨きの声かけを行っているか。
		(2) 食に関する指導の充実	⑧ 好き嫌いなく食べているか。	⑤ 好き嫌いなく食べることの大切さについて指導を行っているか。	⑤ 好き嫌いなく食べるように声かけをしたり食べる工夫をしたりしているか。
		(3) 基礎体力の向上	⑨ 昼休み時間などに外で元気よく遊んだり、ちょこっと運動をしたりしているか。	⑥ 外遊びや「ちょこっと運動」(運動の習慣化)をするよう働きかけたか。 ⑦ 体育科学習に体づくりの運動を計画的に取り入れているか。	⑥ 普段から運動に親しませるようにしているか。
※ 楽しく学校生活を過ごすことができる児童			※ 学校生活は楽しいか。		

(2) 評価内容と方法

- 評価内容は、児童の学習面の到達度については、全国学力調査、県学力調査、CRT検査等の結果も参考にする。
- 平成25年度の教育的課題(重点目標)を検証する形で評価を計画し、児童については成果指標、教職員については取組指標をアンケート等により評価する。保護者については、保護者の取組と学校の取組に対する2つの観点からアンケートにより評価する。(4参照)
- 各学級、各指導部においては、各種指導事項に関するデータをもとに評価を行う。
- 役割達成度評価や職務行動評価との関連も踏まえ、教職員の取組について評価を行う。
- 月ごとの各種行事の評価や学期ごとの職員会での成果と課題についても評価の資料として位置付ける。

(3) 評価の種類と時期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各種学力調査等	全国・県学力調査、NRT									CRT		
児童アンケート										アンケート		
教職員アンケート										アンケート		
保護者アンケート										アンケート		説明(P T A総会)
教職員評価 ・役割達成度評価 ・職務行動評価	経営ビジョン・重点目標設定		ミーティング		1学期の取組を受けての改善案検討		中間ミーティング		参考意見聴取シート提出		評価シート提出 フィードバック	
学校評議員会 学校関係者評価	第1回会議 経営方針、重点事項への取組説明			○ 学校評価の評価項目内容の検討 ・自己評価の方法及び評価書様式の決定 ○ 各種情報の提供と収集						第2回会議 学校評価についての自己評価書説明と評価		
学校経営	経営説明		評価		次年度に向けての改善点の検討				評価		次年度の重点目標と具体的方策についての検討	

4 学校の取組に対する保護者のアンケート項目と基準

	4	3	2	1	肯定評価
地域に信頼される学校	1 子どもは楽しそうに学校に通っていますか。				#DIV/O!
	2 確かな学力をつける努力をしていますか。				#DIV/O!
	3 子どもの悩みや相談に誠意をもって応じていますか。				#DIV/O!
開かれた学校	4 学校・学級の教育方針や教育活動の状況を知らせていますか。				#DIV/O!
	5 子どものことを相談しやすいですか。				#DIV/O!
協働意識をもった職員	6 保護者や地域の方と協力し合って教育を行っていますか。				#DIV/O!
	7 学校の職員は一丸となって教育にあたっていますか。				#DIV/O!

基準例

- 4…とてもあてはまる。
- 3…だいたいあてはまる。
- 2…あまりあてはまらない。
- 1…ほとんどあてはまらない。

5 数値目標の設定

アンケートの場合は、「とてもあてはまる。」「だいたいあてはまる。」という肯定的状況を合わせた達成率で設定する。

平成29年度 西都市茶臼原小学校 自己評価書

学校の教育目標	進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成
本年度の重点目標	確かな学力の定着 心の教育の充実 たくましい心身の育成

児童の成果目標のとらえ方	教師の数値目標のとらえ方	総合評価基準(4段階)
4 よくできている	4 頻繁に行っている(9割以上)	4 期待以上
3 だいたいできている	3 かなり行っている(6割以上~9割未満)	3 ほぼ期待通り
2 あまりできていない	2 時々行っている(2割以上~6割未満)	2 やや期待を下回る
1 できていない	1 ほとんど行っていない(2割未満)	1 改善を要する
※自己評価での4・3の回答割合		

評価項目	具体的な数値目標		方策・手立て	○成果・●改善点	自己評価			学校関係者評価	学校関係者評価委員会における具体的な意見や改善策
	児童に関する数値目標 (成果指標)	教師の取組に関する数値目標 (取組指標)			児童 達成率	教師 達成率	総合 評価		
確かな学力の定着	①「話す」、「聴き合う」をがんばったという割合を80%以上にする。	①「話す」「聴き合う」態度を意識させながら学習を進めているという割合を90%以上にする。	○学習指導週間の充実 ○日常の学習における指導の充実	○学習指導週間の集計結果のグラフ化は本年度も実施し、各学級での共通実践を行うことが出来た。 ●教師の数値目標は、本年度は達成出来なかった。「聴き合う」がまだ十分とは言えないと捉えている。	H28 95.6%	H28 100%	2	○母体数が少ないため、学年の構成によってもパーセントの数値が年によって大きく変化する面があるのはやむを得ない。	
	②進んで読書をしたという割合80%以上にする。	②図書室を活用し読書を勧めているという割合を90%以上にする。	○読書量データを活用した読書活動の推進 ○図書室の整備	○読書量自体は増えている。 ●児童・教師共に達成率が10%以上下がっており、家読での協力も57.1%と低い。読書への意欲喚起と、読書の質が課題である。	H28 88.9%	H28 77.8%			
	③立腰の姿勢で学習ができたという割合を80%以上にする。	③立腰の姿勢について指導を十分に行ったという割合を90%にする。	○声かけ指導の徹底	●児童の意識が到達目標に達していない。教師達成率も低く、依然立腰の徹底が課題である。	H28 82.2%	H28 77.8%			
基礎的・基本的学習内容の定着	④計算や漢字、読み声などを続けて学習に取り組んでいるという割合を80%にする。	④学級の実態や個に応じた指導の工夫や手立てを行っているという割合を90%以上にする。	○実態把握の充実 ○教材研究の充実 ○学習指導法の工夫改善 ○学習評価の充実 ○主題研究の充実 ○かがやきタイムの充実	○教師の意識は昨年も今年も100%である。 ●昨年、一昨年は児童達成率は90%を超えていたので、やや下がってきている。基礎的・基本的な学習の習熟について教師は、しっかり指導していると感じているのに対して児童自身が十分ではないと感じているようである。児童自身が定着できたと感じるような手立てが必要である。	H28 91.1%	H28 100%	3	○読書への意欲と外で遊ぶということのバランスは難しい。子ども時代は外で元気に遊び、大人になって地域を離れずに、地域を支える一員になってくれればそれが一番の願い ●本を借りる冊数を年間2000冊を目標にしていたが年度途中で、目標を高く設定した。しかし、借りる日を決めているため冊数は達成しているが、内容面での課題は残 ●基礎学力については全国レベルに達しているとは言えない。少人数だと個人	
	⑤授業内容が分かると答える割合を80%にする。	⑤学習内容の定着を図る工夫をしているという割合を90%以上にする。	○家庭学習の見届け	○児童・教師とも、目標達成率が高い。児童も授業内容を大体分かっているとする回答が多い。保護者の家庭学習見	H28 86.7%	H28 100%			

				届け率も90.5%と上がってきている。	92.3%	100%		
西都市一貫教育の推進	⑥さいと学や英語活動(英会話)に楽しく取り組むことができたという割合を80%以上ににする。	⑥児童がさいと学や英語活動(英会話)に楽しんで取り組めるような工夫や改善を行っているという割合を80%以上ににする。	○さいと学・英語活動(英会話)の充実	○楽しく取り組んでいる児童の割合が年々高くなってきている。 ●英語活動が教科となる移行期にあって、一層の指導の工夫が必要である。	H28 95.6%	H28 88.9%	3	
					96.2%	75.0%		
学び合い	⑦学び合いをがんばれたという割合を80%以上ににする。	⑦学び合いを位置付けた指導法の工夫や改善を行っているという割合を80%以上ににする。	○学び合いを位置付けた指導法の工夫改善	○児童は、学び合いに慣れ、自然と「ねえ教えて」「どこが分からないの」と言い合える関係ができつつある。 ●教師側としては、本年度西都市指定研究公開を行う中で、更に指導法の工夫改善の余地があり、学び合いの質を高める必要があると感じているようである。また、基礎的・基本的な学習の習熟との関連も課題となる。	H28 95.6%	H28 100.0%		
					96.2%	87.5%		

評価項目	具体的な数値目標		方策・手立て	○成果・●改善点	自己評価			学校関係者評価	学校関係者評価委員会における具体的な意見や改善策
	児童に関する数値目標 (成果指標)	教師の取組に関する数値目標 (取組指標)			児童達成率	教師達成率	総合評価		
茶臼原小よ い子のきま りの指導徹 底	①自分から進んであいさつをしているという割合を、地域の人90%以上、家の人90%以上、先生90%以上、友達90%以上ににする。	①進んであいさつすることを意識して指導しているという割合を90%以上ににする。	○日常指導の充実 ○あいさつ運動の実施 ○校外学習等での実践	○家庭におけるあいさつがよくなってきている。 ●いつでもどこでも心を込めてという点ではやや課題がある。	H28 地域91.1% 家庭91.1% 家庭91.1% 先生97.8% 友達100.0%	H28 100.0%	3		
	②元気よく「はいっ」の返事ができているという割合を90%以上ににする。	②常に元気のよい返事をすることを指導しているという割合を90%以上ににする。	○日常指導の充実	○児童の意識は本年も数値目標を達成している。 ●教師側から見ると少し下がってきている。「常に」という点で指導の充実を図る必要がある。	地域90.4% 家庭96.2% 先生98.1% 友達94.2%	100%			
	③自分の持ち物やトイレのスリッパをきちんと整頓しているという割合を85%以上ににする。	③身の回りの整理整頓を行うとともに、児童への指導も行ってという割合を80%以上ににする。	○靴箱・トイレのスリッパの整理整頓の徹底	○児童としてはよくなってきていると感じている。 ●教師側としては、繰り返し指導していてもそれが十分ではないと感じているようで、	H28 91.1%	H28 100%			
					92.3%	87.5%			
					H28 84.4%	H28 80.0%			
					94.2%	62.5%			

心の教育の充実				数値目標がかなり下がっている。指導方法の工夫を行い、継続的に指導を重ね徹底を図っていく必要がある。				
	思いやりのある心、感謝の心の育成	④友達に「くん」「さん」を付けて呼んでいるという割合を90%以上にする。	④言語環境を意識した指導を行っているという割合を80%以上にする。	○名前の呼び方の指導の徹底 ○教師の言語環境の充実	○児童の意識としては、一昨年度が76.9%だったのでかなり上がってきている。96.2%の内、4（よくできている）の評価が88.5%と高い。 ●特定の児童が自分ではできていないと自覚しているようである。個別に指導を行っていく必要がある。	H28 88.9%	H28 100%	3
		⑤「ありがとう」「ごめんなさい」が言える割合を90%以上にする。		○場の指導の徹底 ○教師の言語環境の充実	○児童の意識としては、本年度も数値目標を達成している。 ●感謝の気持ちを学校の重点目標としているが、教師側としては、十分とは言えないと捉えている。	96.2%	87.5%	
	規範意識の向上	⑥ルールやマナーを守っているという割合を90%以上にする。	⑤善悪の判断に関する具体的な指導を日常的に行っているという割合を90%以上にする。	○日常指導の充実 ○登校班会での指導 ○教育相談の充実	○児童の意識が高まり、かなり数値が上がってきている。指導者としても、規範意識についてはしっかり指導出来ているととらえているようである。	H28 86.7%	H28 100.0%	3
		⑦がまんする心をもつ努力をしているという割合を90%以上にする。			●昨年度新設された項目であり、昨年度は数値目標に達していたが、本年度は数値目標に達していない。2の評価が3名、1の評価が4名いる。機会あることに耐性の心を育てていく指導を行っていく。	94.2%	100.0%	
						H28 90.9%		
					86.5%			

評価項目	具体的な数値目標		方策・手立て	○成果・●改善点	自己評価			学校関係者評価	学校関係者評価委員会における具体的な意見や改善策
	児童に関する数値目標 (成果指標)	教師の取組に関する数値目標 (取組指標)			児童 達成率	教師 達成率	総合 評価		
健康安全指導の充実 たくましい心身の育成	①毎日、早寝・早起きがきちんとできたという割合を80%以上にする。	①日常的に規則正しい生活について具体的な指導を行っているという割合を90%以上にする。	○すくすくチェックの実施 ○保健便りの発行	○「きちんと朝ご飯を食べている」という達成率がかなり高くなっている。3・4以外では2の評価が1名いるのみである。 ●排便がきちんとできなかったと回答している児童がやや増えた。教師の3項目を含めた数値目標90%には達していない。	H28 93.3%	H28 100.0%	3		
	②毎日、きちんと朝ご飯を食べているという割合を90%以上にする。				90.4%				H28 93.3%
	③毎日、排便がきちんとできたという割合を50%以上にする。		98.1%	H28 93.3%	88.9%				
	④正しい姿勢で生活しているという割合を80%以上にする。	②日頃から正しい姿勢を身に付けさせる指導を行っているという割合を90%以上にする。	○教師は意識して指導している。 ●児童の意識がかなり下がっている。教師との意識差が大きく、立腰と含めて課題である。	H28 91.1%	H28 100%	76.9%			100.0%
	⑤毎日、ハンカチを持ってきているという割合を90%以上にする。	③ハンカチを身に付けたり、手洗い・うがいをしたりする習慣化を図る指導を行っているという割合を90%以上にする。		○教師はしっかり指導を行っていると捉えている。 ●児童の達成率が数値目標に達していない。ハンカチを携帯していない児童が時折見られる。	H28 88.9%	H28 100.0%			86.5%
	⑥手洗い・うがいをしっかりしているという割合を90%以上にする。		○インフルエンザが流行していたこともあり、児童も手洗い・うがいを意識して行えた。		H28 91.1%				100%
	⑦歯磨きをきちんとしているという割合を90%以上にする。		④歯磨きの習慣化を図る指導を行っているという割合を90%以上にする。	○学校保健委員会での保護者への意識の啓発 ○歯磨きカードの活用	○児童の意識は、昨年度・一昨年度と同水準であと少しのところの数値目標に達してい	H28 88.9%			H28 90.0%

			○集会等での意識の啓発	ない。 ●教師の意識もあと少しのところ で数値目標に達していない。しかし、 本年度は、学校医による歯科指導を 全学年でできた。	88.5%	88.9%		
食に関する指導の充実	⑧好き嫌いなく食べているという割合を90%以上にする。	⑤好き嫌いなく食べることの大切さについて指導を行っているという割合を90%以上にする。	○給食時間の指導の徹底 ○学級活動等での指導の実施	○栄養教諭指導も行われ、児童の意識が高まってきている。	H28 88.9%	H28 100.0%	3	
基礎体力の向上	⑨昼休み時間などに外で元気よく遊んだり、ちょこっと運動をしたりしている割合を90%以上にする。	⑥外遊びや「ちょこっと運動」をするよう働きかけたという割合を90%以上にする。		○児童の意識は95%以上で、依然高い。	H28 97.8%	H28 100.0%	3	
		⑦体育科学習に体づくりの運動を計画的に取り入れているという割合を90%以上にする。	○体育学習の充実 ○ちょこっと運動の実践 ○各項目を高めるための運動の紹介	●ちょこっと運動を朝の活動からはずしたため、指導の徹底が図られなかった面があると思われる。	96.2%	88.9%		
※楽しく学校生活を過ごすことができる児童	※学校は楽しいという割合を90%にする。	※学校は楽しいの回答96.2%の内訳は、4評価が69.2%、3評価が26.9%であった。ほとんどの児童が学校は楽しいと回答している。1の評価を付けていた児童が1名いたので、配慮が必要である。			H28 95.6%			
					96.2%			